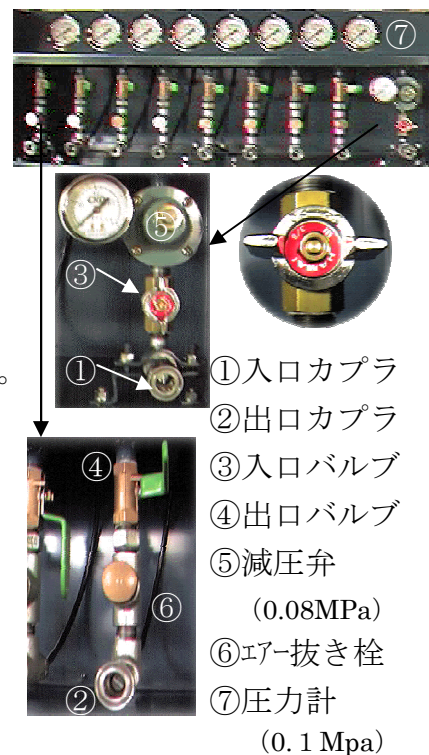


管路気圧試験器 取扱説明書

この度は、管路気圧試験器をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この試験器を十分に活用していただく為に、次の使用方法及び取扱注意事項をご理解の上、ご使用いただきます様お願い致します。

使用方法

1. 気圧試験器各部の名称。(右図参照)
2. 取扱い概要(裏面参照)の様に、試験管路の片方にはB型ストッパー(盲栓)を取付け、もう一方にA型ストッパー(エア供給栓)を取付けて下さい。※
3. エアコンプレッサーに親ホースを接続し、その口金を気圧試験器の入口カプラ①(右側)に接続して下さい。気圧試験器出口カプラ②とA型ストッパーを計器ホースで接続。以上の準備完了後、以下の管路気密試験を開始して下さい。
4. コンプレッサーより気圧試験器にエアを圧送。出口バルブ④を開き、次に入口バルブ③をゆっくり静かに開放し試験管路内にエアを供給。(減圧弁は0.08MPaにセットされています。調整は行わないで下さい。)
5. 管路内エアの圧力が、規定の測定値(0.05MPa以上)になったら、入口バルブ③を閉じ、次に出口バルブ④を閉じて下さい。次に、エア抜き栓⑥を徐々に緩め、圧力計⑦の針が規定値(0.05MPa)になるまでエアを抜いて調整して下さい。規定値(0.05MPa)になったらエア抜き栓⑥を確実に閉めて下さい。
6. 以上で操作は完了です。所定の時間経過後、圧力計⑦を確認し、管路内の気密試験をして下さい。
7. 気密試験終了後、管路内のエア抜きは、エア抜き栓⑥を緩めるか、計器ホースを出口カプラ②より外して下さい。



※ 取扱注意事項 ※

1. 加圧作業中は、絶対にマンホール内に入らない。
2. ストッパーの取付の際、取付部の汚水・水滴等の付着物を拭取り管路内の圧力に十分耐えられるように締付ける。
3. 通線体(ラコーダー)が、管路途中で停止した場合は、コンプレッサーを止め地上でホースをはずし圧力0を確認すること。
4. レギュレーターを使用し固定して使用して下さい。レギュレーターを過信せず、バルブの開閉はゆっくり静かに行って下さい。
5. やむえずマンホール内に入る際は、必ず地上でホースをはずし圧力0を確認して下さい。

